

花エピソード

命を繋ぐ花

私は花に興味がなかった。しかしあるきっかけで花の素晴らしさを知ることができた。

これは私が高校生時の話です。私は農業高校に通っていて花の生産についても勉強していた。ある実習で作った鉢花を持ち帰ってもいいと言われなんとなく持ち帰ったのが始まりだった。当時の私は花に興味もなくただ枯らしてしまおうだろうと思い祖母にあげようと思った。私の祖母は花が好きでした。しかし病気により祖母は趣味の園芸も辞め日に日に衰弱していた。そこで私は花を育てることでもう一度元気になってもらいたいと思い一つの鉢花をあげた。祖母は大変喜び毎日の花の世話が生きがいになったと言っていた。その後祖母の容体はよくなり病気が嘘のようでした。花は素晴らしい、もらった人だけでなくあげた人も不思議と嬉しくなる。最近では病院に花を持っていくことを規制するところもある。病気は体だけでなく精神も蝕むそんな人には花こそ特効薬だと私は考える。